

原料費調整制度に基づく2026年7月検針分のガス料金について

1. 2026年7月 検針分の料金表

- (1) ガス小売供給約款契約料金表（福島支社・茨城支社・茨城南支社地区）
各月のご使用量に応じてAからDの各料金表が適用されます。

	(税込)			
	料金表A	料金表B	料金表C	料金表D
月間使用量(m ³)	0～24	24～102	102～501	501～
基本料金(円/月)	913.00	1,193.50	1,468.50	6,383.63
調整単位料金(円/m ³)	216.98	205.29	202.60	192.80
【参考】前月調整単位料金(円/m ³)	(216.32)	(204.63)	(201.94)	(192.14)

(2) 標準家庭における影響

	(税込)		
1か月のご使用量 [※]	2026年7月ガス料金	2026年6月ガス料金	差額
21m ³ (45MJ)	5,469円	5,455円	14円

※1か月のご使用量については、2021年度から2025年度のご家庭1件当たり使用量の平均値です。

■ 標準家庭料金の計算方法

$$\boxed{5,469} = \boxed{913.00} + \boxed{216.98} \times \boxed{21}$$

2026年7月ガス料金(円:税込) 基本料金(円) 単位料金(円/m³) ご使用量(m³)

$$\boxed{216.98} = \boxed{208.10} + \boxed{8.88}$$

単位料金(円/m³) 基準単位料金(円/m³) 単位料金調整額(円/m³)

2. 原料価格の変動

(1) 原料価格の実績

算定期間		(円/t)	
		2026年2月から2026年4月	
平均原料価格	卸供給	88,220	
	LNG	87,440	
	LPG	98,230	
		87,990 (a)	
基準平均原料価格		78,400 (b)	
差額 (a-b)		9,590	

※LPG価格、LNG価格はともに貿易統計値

(2) 単位料金調整額の算定方法

■ 平均原料価格の算定

$$\text{平均卸供給価格} \quad \boxed{88,220\text{円/t}} \times 0.5930$$

$$\text{平均LNG価格(貿易統計値)} \quad \boxed{87,440\text{円/t}} \times 0.4021$$

$$\text{平均LPG価格(貿易統計値)} \quad \boxed{98,230\text{円/t}} \times 0.0053$$

$$\text{平均原料価格} \quad \boxed{87,990\text{円/t}} \quad (10\text{円未満四捨五入})$$

■ 原料価格変動額の算定

$$\boxed{87,990\text{円/t}} - \boxed{78,400\text{円/t}} = \boxed{9,590\text{円/t}} \quad (100\text{円未満切り捨て})$$

■ 単位料金調整額 (m³あたり調整額) の算定

$$\text{単位料金調整額} = \boxed{9,590\text{円/t}} \div 100\text{円/t} \times 0.085\text{円} \times 1.10$$

$$= \boxed{8.88\text{円}} \quad (\text{小数点第3位以下切り捨て})$$

【参考】原料費調整制度の概要

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を毎月調整する制度です。
 ■ 「基準平均原料価格(78,400円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円/tにつき、ガス1m³当たり0.085円(税抜)の単位料金を調整いたします。
 ■ 原料価格の変動は貿易統計の実績によります。